

2010年度

|               |   |     |       |
|---------------|---|-----|-------|
| 科目名           | 道徳教育の研究   |     |       |
| 担当教員          | 菊地 建至   |     |       |
| 配当            | 日文3・英語3・文財3・人社3   | コード | 24850 |
| 開期            | 前期  | 講時  | 火曜日4限 |
|               |   | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ         | 現代社会の道徳教育を想像・創造する   |     |       |
| 目的と概要         | <p>&lt;授業の目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳(倫理)」に関して、その基礎をしっかりと理解する。とくに「現代社会の」道徳(倫理)にとって重要なことを知り、その教育の点で成長する。</li> <li>・下記テキストも活用しながら、「道徳の教育」について柔軟に考え、多様な「道徳に関する考察・話し合い・授業」を実践することができるようになる。</li> </ul> <p>&lt;授業の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この「道徳教育の研究」は、上記の目標に合わせた授業になる。とくに、2010年度は、「(より)よいコミュニケーション・会話」・「ことばを使った、思考と表現」の視点にたった「道徳教育」研究を重視する。また、「自由」に関連した授業内容が多い。</li> <li>・この「道徳教育の研究」は、たんなる講義形式ではなく、「映像資料」・「課題」・「グループワーク」をたびたび取り入れるなど、学生が「能動的に参加する」機会を多く設ける。</li> <li>・単位取得には、「予習」・「授業参加」・「復習」のいずれに関しても、積極的に取り組むことが必要です。</li> </ul> |     |       |
| 成績評価法         | 平常点のみ(100%)で、評価する。<br>平常点は、「授業参加の積極性」・「課題や小テストの評価」・「グループワークの評価」などによって、「総合的に」評価される。  |     |       |
| テキスト          | オスカー・ブルニフィエ『子ども哲学 よいこととわるいことって、なに?』、朝日出版社。  |     |       |
| 参考書           | 授業のなかで、適宜指示する。  |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業では、「話されることばをよく聞き、集中して、ていねいに考える」ということが重視されます。そのために、「私語」はけっして許しません。</li> <li>・ただ、毎回座っていれば単位がとれて当然だとか、授業中の「私語」や「授業と無関係な用事をする」ことに厳しく対処されるのは嫌だとか思う学生、遅刻・欠席・早退がちな学生は、この授業には向きません。</li> <li>・このように厳しい面がありますが、そうした注意が守られれば、きっと、親しみやすく、楽しく学べる授業になると思います。いっしょに、よい授業をつくりましょう。</li> </ul>   |     |       |
| 講義計画          |   |     |       |
| 1-3           | ガイダンス   |     |       |
| 4-5           | 「どんなときでも、親のいうことはきかなきゃだめ？」   |     |       |
| 6-7           | 「みんながいると、自由にできない？」  |     |       |
| 8-9           | 「こまっているひとがいたら、たすけてあげる？」   |     |       |
| 10            | 調整日   |     |       |
| 11-12         | 「いつでも、したいことしていいのかな？」  |     |       |
| 13-15         | 「学期末の総まとめ」 関連   |     |       |